

ドレミファソラシドをマスターするエクササイズ

●バージョン1

Musical notation for Version 1 exercise. The notation is in 4/4 time and Gtr I. The melody is written on a single staff. Below the staff are three staves for guitar strings: T (Treble), A (Middle), and B (Bass). The fret numbers are: T: 5 6 8 5 7 8 8; A: 2 3 5 2 4 5 5 7; B: 3 5.

全て2オクターブ分でのエクササイズになっています。

3弦5フレット～また1オクターブ上のドレミ～を弾く事になります。

2フレット～5フレットまでをそれぞれ人差し指～小指全てを使って弾くと良いです。

オクターブ上に来たら、5フレット～8フレットまで、それぞれ人差し指～小指全てを使って弾きます。

オクターブ上に来たとき(3弦5フレット)の瞬間のポジション移動をスムーズに行う事が鍵になります。

●バージョン2

Musical notation for Version 2 exercise. The notation is in 4/4 time and Gtr I. The melody is written on a single staff. Below the staff are three staves for guitar strings: T (Treble), A (Middle), and B (Bass). The fret numbers are: T: 5 6 8 5 7 8 8; A: 5 7 8 5 7 4 5 5 7; B: 8 5 7 8.

6弦～1弦まで全てを使ったパターンです。以前にも出した譜例です。

視覚的にドレミ音階を覚える、良いエクササイズになります。

●バージョン3

Musical notation for Version 3 exercise. The notation is in 4/4 time and Gtr I. The melody is written on a single staff. Below the staff are three staves for guitar strings: T (Treble), A (Middle), and B (Bass). The fret numbers are: T: 8 10 7 8 8; A: 7 9 10 10 7 9 10; B: 8 10 7 8 10.

ちょっと、突拍子もない運指になりますが、意外と使えるパターンです。
 必然的に1弦15フレットを『小指』で押さえる事になると思います。
 その次の17フレットへは、一気にポジションをジャンプして人差し指で押さえるようにします。
 続きの19フレットを薬指、20フレットを小指で弾くようにします。

このようにするとポジション移動の効果的なエクササイズになります。
 (あまりに難しいと感じる場合は無理にやる必要はありません。)

今回のエクササイズ譜例も一生使えると思います。
 いつでもすぐ観れるように、プリントアウトしておく事をお勧めします。

これを完璧にアタマに叩き込めば、指がギターの指板上で勝手に『メジャースケール』を使って
 色々なパターンを自由に弾いていってしまう状態になると思います。

違ったキーの曲でも、位置をずらしてみても「ここがハマるな…」
 というポジションを見つけてやってみましょう。

色んな曲に合わせてギターソロが自由に弾けるようになります。

是非、指に染み込ませるように何度も弾いて、あなたのものにしていって下さい。
 オリジナルを作ったりする時にも必ず役立ちます！

エレきち